

地域医療を未来へつなぐために

公立豊岡病院組合は、但馬地域の中核的医療機関として、住民の皆さんが安心して医療を受けられる体制を守るため努力を続けています。しかしながら、現在の病院経営は非常に厳しい状況にあります。本紙では、地域医療をこれからも未来へつないでいくために、病院経営の現状と背景を説明するとともに、住民の皆さんにご理解・ご協力いただきたいことをお伝えします。

令和6年度の決算の概要

～医業収益は増加も、費用の伸びが大きく厳しい経営状況が続いています～

令和6年度、公立豊岡病院組合では、入院患者数や入院単価の増加により、医業収益は約8億円増加しました。

しかし、一方で以下のような要因により医業費用は約13億円増加しました。

- ・人事院勧告(民間企業の賃上げの影響)を踏まえた給与水準の引き上げ
- ・高額医薬品の増加や物価高騰による材料費の上昇
- ・物価高騰や賃上げの影響による経費の増加

さらに、コロナ対応として支給されていた補助金(医業外収益)の終了により収入減となりました。職員一丸となつての経営努力により、約8億円の収益増となっているにもかかわらず、病院の診療報酬は国の定めた「公定価格」であるため、自由な価格設定ができず、上記のような費用を補えるほどの収入増加とならないという制度上の問題があります。

その結果、純損失は前年度より約7億円悪化し、**12.8億円**に達しました。

また、内部留保資金(運営を続けるために蓄えている資金)は1年間で約14億円減少し、△2億円となる非常に厳しい結果となりました。

表1 過去3年の経営状況

(税込、単位:億円)

項 目	R04	R05	R06	対R05
医業収益	181.3	179.4	187.7	8.2
入院収益	119.3	117.5	126.1	8.7
外来収益	57.4	57.6	56.8	△0.8
その他医業収益	4.6	4.4	4.8	0.4
医業費用	221.6	222.8	236.2	13.4
給与費	118.1	117.7	123.9	6.3
材料費	54.1	55.1	58.2	3.1
経費	33.9	34.1	36.1	2.0
その他	15.5	15.9	17.9	2.0
医業外収益	46.3	40.9	39.0	△1.9
コロナ補助金	8.3	2.2	0.0	△2.2
その他	38.0	38.7	39.0	0.3
医業外費用	3.4	3.1	3.0	△0.0
経常収支	2.7	△5.5	△12.5	△7.0
純損益	0.2	△5.7	△12.8	△7.0
内部留保資金	20.8	12.2	△2.0	△14.2

これからに向けて

～安心していただける医療を提供し続けます～

病院経営は非常に厳しい状況にありますますが、委縮することなく医療を提供し続けます。

ヒト、モノに対する投資は、これからも必要に応じて実施していきます。

そのために必要な財源は、知恵を出しながら確保していきます。

そして、経営安定化に向けて全職員が一致団結して努力していきます。



豊岡病院



日高クリニック



出石医療センター



朝来医療センター

住民の皆さんへのお願い

～地域医療を守るためにご理解とご協力をお願いします～

医療は地域にとって欠かせない社会インフラです。公立豊岡病院組合では、多くの患者さんを受け入れ最善の医療を提供できるよう努力していますが、**限られた医療資源**(医師、看護等の人的資源や病床、医療機器等の物的資源)のもとで、質の高い医療を提供し続けるには医療機関ごとの役割分担が重要になります。

例えば、**豊岡病院では、高度・専門医療や救急医療を担う中核病院として、重症や緊急の患者さんを最優先に受け入れています。**

このため、外来受診の際にはまず「**かかりつけ医(開業医)**」を受診いただき、必要に応じて紹介状をお持ちの上で受診いただくようお願いします。特に、**夜間・休日の安易な外来受診**については、真に必要な患者さんの受診に支障が生じるほか、医師や看護師等の勤務負担の増加につながるなど、医療の質と安全を保つうえでも大きな課題となっています。

住民の皆さんには、医療機関ごとの役割分担を踏まえ適切な医療機関を受診する、急性期治療が一段落すれば包括期医療を提供する病院(出石・朝来等)などに転院していただくことが、地域医療を守ることにつながるということをご理解いただき、ご協力くださるよう心よりお願いいたします。